

# 1 印旛沼とは

## 1.1 印旛沼とその流域

印旛沼は、千葉県の北西部に位置し、北印旛沼と西印旛沼に分かれています。2つの沼は捷水路で結ばれています。流域はアフリカ大陸に似た形をし、流域面積は約541km<sup>2</sup>で、千葉県の面積の約10%に相当します。流域人口は約76万人で、千葉県総人口の約12%を占めています。

西印旛沼には鹿島川・高崎川・手繩川・神崎川・印旛放水路（新川）・桑納川・師戸川等の河川が、北印旛沼には江川・松虫川等が流入し、印旛沼の水は、長門川を通って利根川に流れていきます。

師戸川流域

印西市

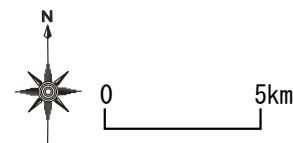


### 神崎川流域

船橋市・八千代市・鎌ヶ谷市  
印西市・白井市



白井市根にその源を発し、北東に流れた後、南東に向きを変え、支川を合流しながら、印旛放水路（新川）に流入する河川で、涵養域である台地では市街地が広がりますが、下流部では谷津や斜面林が残ります。



### 桑納川流域

船橋市・八千代市



船橋市坪井町にその源を発し、北上した後、東方向に向きを変え、印旛沼放水路（新川）に流入する河川で、涵養域である台地では市街地が広がります。

### 新川流域・西印旛沼に直接流入する流域

佐倉市・八千代市・印西市



八千代市の大和田排水機場を最上流部とし、印旛沼西端の阿宗橋で印旛沼に接続しますが、平坦で流れはほとんどありません。河川・沼周辺は水田が広がり、台地には市街地が広がります。

### 手繩川流域

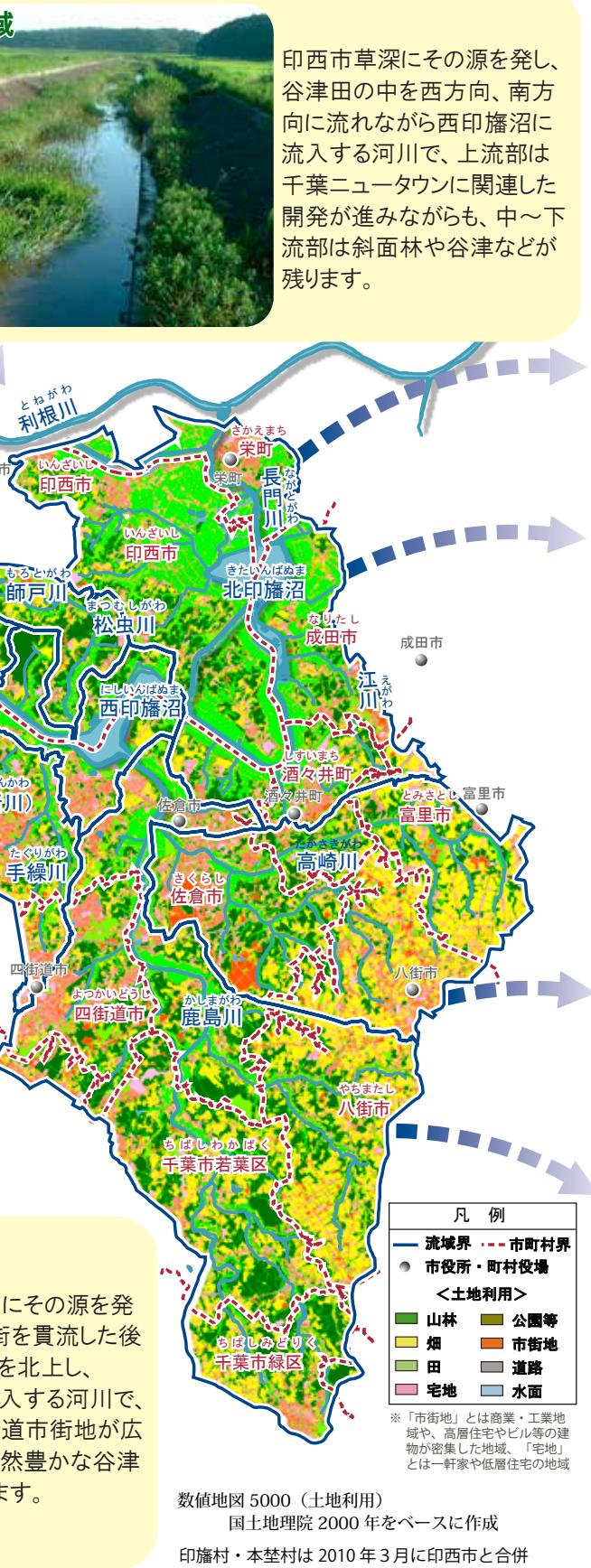
佐倉市・八千代市・四街道市



四街道市大日  
し、四街道市街  
に谷津田の中  
西印旛沼に流  
佐倉市や四街  
がりますが、自  
や湧水が残りま



## 1. 印旛沼とは



印西市草深にその源を発し、谷津田の中を西方向、南方に流れながら西印旛沼に流入する河川で、上流部は千葉ニュータウンに関連した開発が進みながらも、中～下流部は斜面林や谷津などが残ります。

### 長門川流域・北印旛沼に直接流入する流域（江川・松虫川等）

成田市・佐倉市・印西市  
富里市・酒々井町・栄町

印旛沼流域のうち長門川・北印旛沼直接流入域の流域面積の占める割合は約 2 割で、北印旛沼には江川や松虫川等の支川が流入します。長門川は酒直水門を通じて印旛沼からの放流を受け、印旛水門で利根川へ接続します。

### 印旛沼（西印旛沼・北印旛沼）

成田市・佐倉市・八千代市  
酒々井町・栄町

かつては 1 つの沼でしたが「印旛沼開発事業」で分離され、西印旛沼と北印旛沼からなり、両沼は印旛水路（印旛捷水路）によって結ばれています。印旛沼の水は上水の他、工水、農水としても利用され貴重な水がめです。また、台地・斜面林に囲まれた風光明媚な場所で、多くの生物のすみかともなっています。

### 高崎川流域

佐倉市・八街市・富里市・酒々井町

富里市にその源を発し、西方に向へれます。そして、八街市にその源を発する各支川を合流しながら下流部で佐倉市街地を貫流して鹿島川に合流する河川で、中～上流部の台地には畠が広がり、谷津や斜面林が残ります。

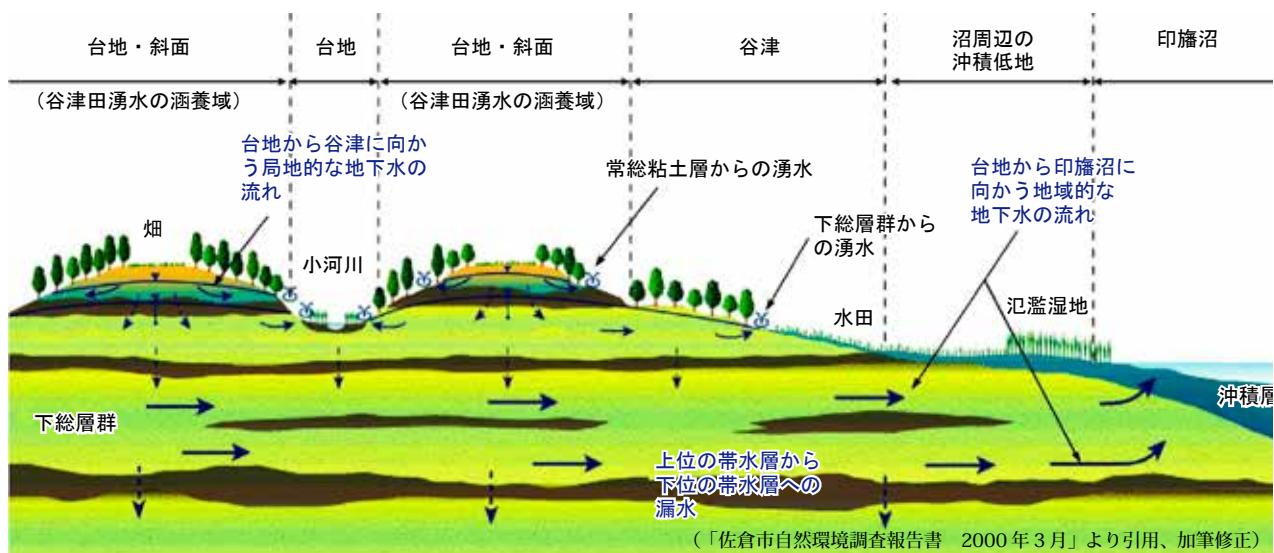
### 鹿島川流域

千葉市（若葉区、緑区）  
佐倉市・四街道市・八街市

千葉市土気にその源を発し、谷津田の中を北上しながら各支川や高崎川を合流して西印旛沼に流入する、印旛沼流域で最大の流域面積を持つ河川で、台地には畠が広がり、また谷津や斜面林が比較的多く残ります。

## 1.2 貴重な水源

印旛沼流域は、台地（下総台地）とこれを浸食している谷津と呼ばれている谷底低地、及び谷津に面した斜面や崖から構成されています。台地は保水性・透水性の優れた関東ロームと呼ばれる土層で覆われ、台地や斜面に降った雨は、地表水として流下し、または地下へ浸透して、湧水となって印旛沼に流入します。さらに、上位の帶水層から下位の帶水層（下総層群）へと浸透する流れも存在しており、この水もいすれは印旛沼へ流入します。印旛沼流域では、このような地形を背景に、谷津頭や斜面からの豊富な湧水が湧出して、流域の自然環境や人の暮らしの基本的な要素となっています。



谷津は、台地に枝状に入り組んだ地形で、印旛沼流域特有の地形です。崖は斜面林に覆われ、多くの湧水が湧き、印旛沼の水源となっています。



台地に枝状に入り組んだ谷津（高崎川）



寒風（佐倉市寒風）



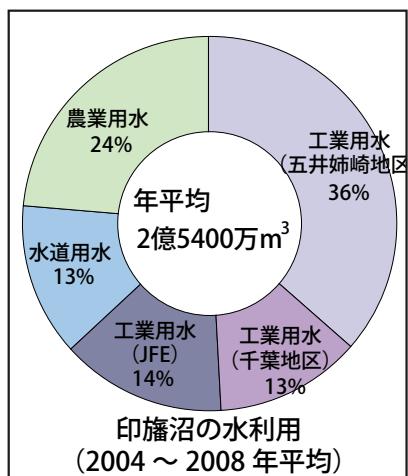
瀧（酒々井市伊藤新田）



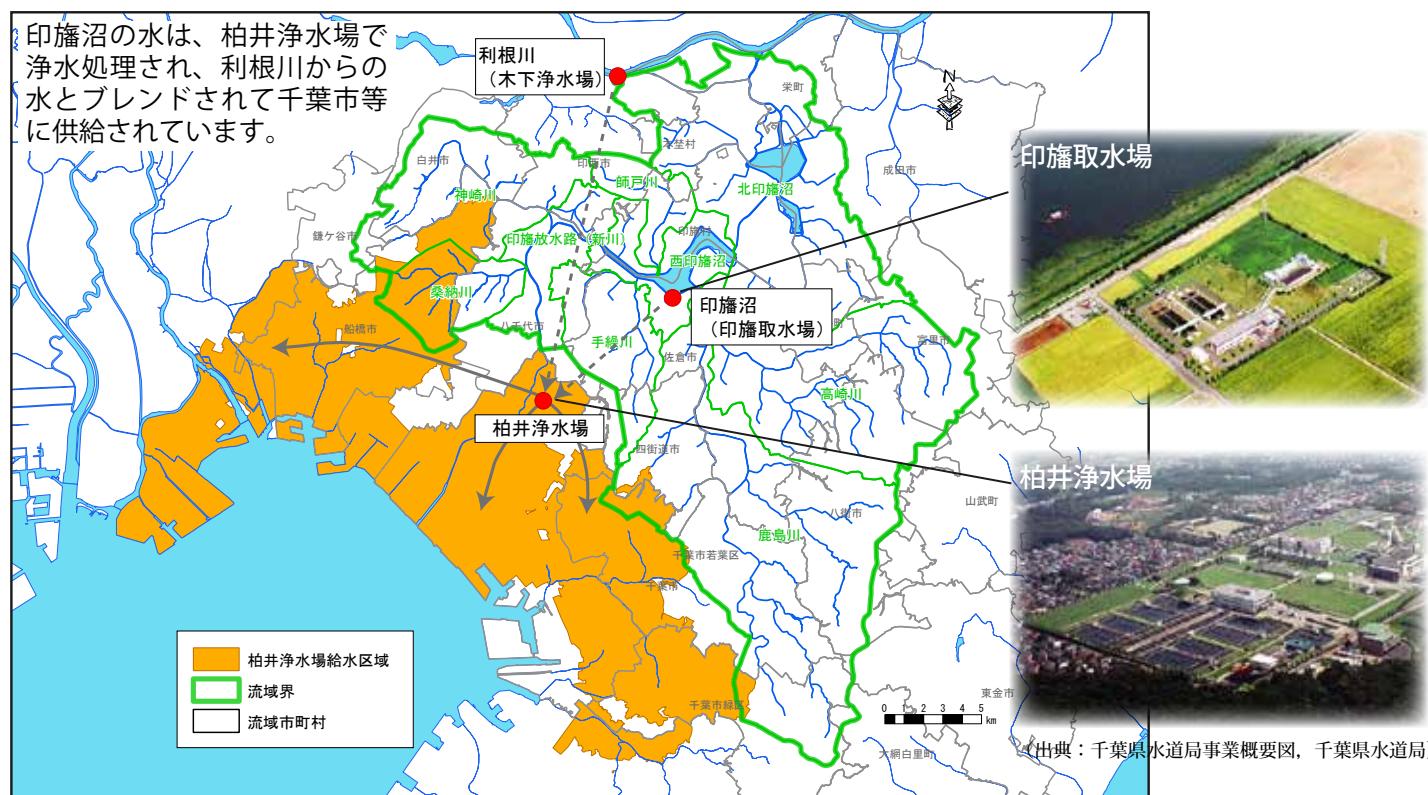
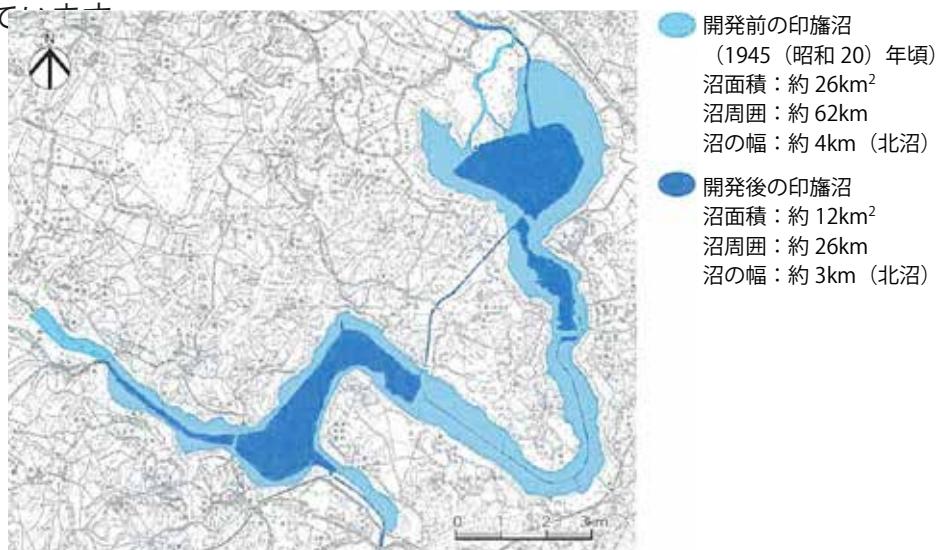
## 1. 印旛沼とは

印旛沼は、印旛沼開発事業（1969（昭和44）年竣工）によって、約6,300haもの水田が整備されるとともに、貯水池化もされた水管理がされています。そして、千葉市や浦安市等に水道用水、京葉工業地帯等に工業用水、印旛沼周辺水田に農業用水がそれぞれ供給されています。

印旛沼・利根川から取水している柏井浄水場では9市1町、長門川から取水している前新田浄水場では1町1村に給水しています。



(独立行政法人 水資源機構 千葉用水総合管理所のデータを元に作成)



県水道用水の給水区域

印旛村・本塙村は2010年3月に印西市と合併

## 1.3 豊かな自然環境

印旛沼及び流域は、都心から約40kmに位置しながら、今なお豊かな自然環境が残っています。湧水が湧出する谷津等では、生き物たちが多数生息・生育しています。



谷津田と斜面林（佐倉市米戸沢）



カタクリ



サワガニ

## 1.4 農業・漁業

千葉県は、全国有数の農業県です。沼周辺は水田、流域の台地には畑が広がっています。

印旛沼は漁業資源も豊富です。張網(コイ、フナ、雑魚等)や船曳網(エビ、ワカサギ、雑魚等)、柴漬(エビ、ウナギ、雑魚等)等の漁業が、現在でも行われています。また、沼周辺は、多くの釣り人の姿も見られます。



水田地帯（成田市八代地先）



漁業のようす

(出典：印旛沼ものがたりーあの日あのときー、水資源開発公団千葉用水総合事業所)



## 1. 印旛沼とは

### 1.5 受け継がれる文化

古代、印旛沼周辺は“古鬼怒湾(香取海または香取浦)”の入り江であったことから、古くから人々が生活を営んできました。その長い暮らしの歴史の中で、地域の祭祀や信仰のための社寺仏閣が創建され、地域の文化がはぐくまれてきました。

印旛沼周辺の神社を見ると、麻賀多神社、宗像神社、鳥見神社、埴生神社が多く、それぞれが交わることなく分布し、沼の周辺に定着した人々の起源や、沼周辺の地域構成や文化形成の重要な手がかりを掴むことができます。

また、印西市にある結縁寺には、国の重要文化財である銅造不動明王立像が安置されています。そして、この周辺の谷津地域は、自然環境、生物多様性、人の営みの視点で優れた里として、「にほんの里 100 選」(朝日新聞社・(公財)森林文化協会主催、2009 年 1 月)に選ばれました。



結縁寺周辺の谷津地域

### 1.6 人が集う憩いの場

西印旛沼の鹿島川河口付近には佐倉ふるさと広場があり、季節に応じて色々なイベントが開催されています。また、沼の周囲はサイクリングロードが整備され、週末には多くの人々が訪れます。観光船も運航され、水上から印旛沼や沼周辺の自然を楽しむことができます。



佐倉ふるさと広場（チューリップ祭）



観光船

(出典：印旛沼ものがたり－あの日あのとき－、水資源開発公団千葉用水総合事業所)